

カリキュラムポリシー

こども学科

足利短期大学は仏教的精神に基づく教育を教育理念として掲げています。こども学科では、この教育理念のもと、生命と人権を尊重し、専門的な知識・技術をもつと社会に貢献できる人材の育成を目指し、下記に示す方針のもとに教育課程を編成して学科の教育目的・目標を達成するように図っています。

なお、こども学科のカリキュラムは、社会人としての教養を涵養するための「一般教育科目」と、保育者としての専門性を養うための「専門教育科目」から構成され、2年間の履修によって、幼稚園教諭二種免許や保育士資格などを取得できるように編成されています。

1. 仏教的精神について学び、保育に応用するための科目を開設する
2. 保育者としての実践力を高めるための科目を開設する
3. 短期大学教育への円滑な導入を図るために、初年次教育科目を開設する
4. こどもや保育に対する発展的理解を図るために、1年次においては保育に関する基礎的理論や技術を学習する科目を設け、2年次にはより専門的・応用的な科目を開設する
5. 教育・保育実習の充実を図るために、実習カリキュラムを段階的に組み立てるとともに、年間を通して、実習指導科目を設ける
6. 2年後期を短大での学びの仕上げ時期と捉え、保育に関する専門的な知識や技術の定着を図るとともに、表現力や協働性を確かなものにするための演習科目を開設する

こども学科では、理論と実践の統合を図るために、次の点に特に留意して授業内容を組み立てます。

- ・講義科目においては、一方的な説明・解説に終始するのではなく、演習や実技を取り入り双方向型の授業を行う。
- ・保育技術に関する科目においては、単に技術習得を目指すのではなく、技術・技能が保育実践を構成するものとして理論的位置づけや解説を行う。

看護学科

生命と人権を尊重するとともに、専門的な知識・技術を有し、社会に貢献しうる看護師を養成することを教育目的とし、教育目標には次の四点を掲げています。

1. 責任感と倫理観を有し、あたたかい心で人と関わることのできる人間性を養う。
2. 健康上の問題解決のための科学的根拠に基づいた看護の基礎的能力を養う。
3. 看護の役割を認識し保健医療福祉チームの一員として機能できる能力を養う。
4. 看護をめぐる社会の変化に対応するための研究心・向上心を養う。

以上の目的・目標を具現化するために、3年間の学科課程(カリキュラム)を以下のポリシーにもとづき編成しています。

- ① 1年次・2年次・3年次までに、一般教育科目・専門科目をそれぞれ履修し、学問体系を身につける。
- ② 一般教育科目では、仏教的精神、人間関係、人間及び社会について幅広く学び、基礎的教養を身につける。
- ③ 専門科目のなかの専門基礎分野では、人体の理解・疾病の成り立ちと回復の促進などを学ぶとともに、社会福祉・社会保障などについて学び、人間の健康とそれを支える社会の仕組みを理解する。
- ④ 専門科目のなかの専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野・看護学特論では、さまざまな発達段階そしてさまざまな健康レベルにある人々への、看護の基礎を理解し、知識・技術・態度の学習を積み重ね、臨地実習にのぞみ、看護実践能力を身に付ける。